令和6年度小松市立月津小学校 学校評価2

ገን ለከ	令和6年度小松市立月津小学校 学校評価2 ────────────────────────────────────				
	目標・具体的取り組み	取組の状況(中間・8月提出)	取組の成果と課題(年度末・3月提出)		
生徒指導	《「学校が楽しい」と回答する児童を90%以上にする》 ・日々の授業や学級経営で生徒指導の4つの視点(自己存在感、共感的な人間関係、自己決定、安全・安心な風土)に意識して取り組む。 ・職員会議や研修等で教員に対して、生徒指導で大切にしてほしいことを伝え、実践してもらう。				
特別支援教育	〈どの子も安心して学べるような環境を整える〉 ・長期的・短期的な支援計画を立てて、特別支援教育校内委員会を通して児童の理解を深める。 ・特別支援教育校内委員会や児童理解の会を計画通り実施し、関係機関とも連携をとりながら進める。				
道徳教育	〈道徳教育の充実を図る。〉 ・授業参観を利用し、年間1クラス1回以上道徳授業を公開する。 ・「正直・誠実」の学びの足あとを残す。				
読書教育	〈読書の質的な向上を図る〉 「読書オリンピック」で自分の立てた目標を達成する。 ・図書ボランティア・司書・担任などが読み聞かせやブックトークを行い、良書に触れる機会を設ける。 				
保健安全教育	〈自ら健康的な生活を身につけようとする.〉 ・1校1プランとして「跳躍力を高める準備運動」を継続的に取り入れ、運動に親しませるようにする。 ・生活習慣チェックを行うことで課題を把握し、課題を改善するための取り組みについて児童保護者に啓発する。				
情報教育	〈児童・教師が主体的にICT機器を活用しようとする〉 ・児童、教師ともに学習用端末を日常的に使用する。 ・授業における効果的な活用方法を知り、研究授業等での実践・交流を行う。 ・情報モラルを啓発する活動を学期に一回以上折に触れて行う。				
との連携 家庭・地域社会	(ふるさとを愛し、家庭・地域との連携を深める) ・全学年が積極的に地域の人と触れ合う機会を設ける。・学校から適切に情報を発信し、家庭や地域との連携に努める。・ふるさとの良さを探求し、教育課程の中に取り入れる学習を進める。				

学校関係者評	
評	
価	